

# ウチナースピリッツ

## 中国・沖縄

### ★ビジネス交流の未来

<下>

ウチナーンチユスビリ  
ツツ(精神)を胸に巨大  
市場中国で奮闘する沖縄  
出身ビジネスマンがい  
る。上海のWUB世界大

豊事業を始めた。  
現地の女子大生が「わ  
たしの家には畳間がある  
の」と得意げにい草の  
莫塵が敷かれた板の間を

現在、月千平方の畳  
を生産し、北京から海南  
島まで出荷する。東浜氏

社長目指し海外へ  
シンガポールと中国で  
工場専門の建設会社「沖

見せたのがきっかけだ。  
「若い女性がほれる物は  
商売になる」と福建省長  
樂市に工場を設けた。  
「においがよい」と月桃  
を丸ごと畳の台に練り込  
んだ。  
中国に畳の部屋を増やし  
たい」と意気込む。

# 巨大市場で躍動

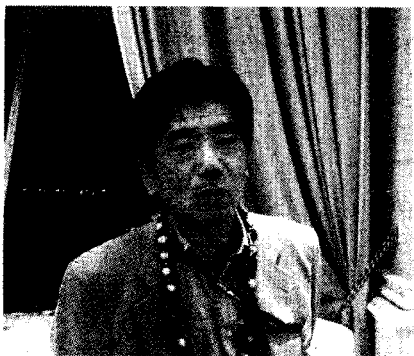
会場で出会った彼らの  
横顔を紹介する。

■女子大生の人気に商機

沖縄のピーグ(い草)  
を中国で栽培し、福建省  
で畳の生産、販売に取り  
組む長樂泰陽農業有限公  
司の東浜永松社長。二十  
年ほど前に貿易業を始  
め、二〇〇三年ごろから



東浜永松氏



照屋弘和氏

## 沖縄の若者にエール



崎浜秀彦氏

山建設」を展開する照屋  
弘和社長。沖縄と母校の  
北山高校から社名をとっ  
た。一九八四年、シンガ  
ポールで起業し、現在は  
中国江蘇省無錫市にも  
本社を置く。

高校卒業後八年間、東  
京で電気設備の技術士と  
して働いた。「三十歳ま  
でに社長になりたい」と  
の夢を抱き、赴任手当で  
お金をためようと海外勤  
務のある企業に勤務、シ  
ンガポールに三年間赴任  
した。  
九五年、中国に進出。

現在総従業員は百二十人  
に達し、九月に青島、十  
月に広東省に支店を構え  
る。「誰も行きながらな  
い所、何もない所を開発  
するのが楽しい」と目を  
輝かせる。

■沖縄スピリッツは不変  
「自分が変わった中国  
の地で命をあげるくら  
いの気持ちで勝負した  
い」と語るのは、上海に  
本社を置く上翼(スカイ  
マインド)の崎浜秀彦社  
長。九六年に起業し現在  
三十五歳。看板や空間デ  
ザインを手掛けるほか、  
上海の飲食店を中心に中  
国全土で三十業者に泡盛  
を販売している。  
「沖縄では目的意識  
なくフラフラした若者  
った」と振り返る。お、  
の勤めを受け、短大卒業  
後に上海の復旦大学に在  
学。上海で活躍する日土  
人ビジネスマンの姿に知  
激を受け起業した。  
「ビッグなものを見  
るとエネルギーが生まれ  
る。夢を見たい、何かを  
したいという人はまず、  
外に出てみる」といって  
沖縄の若者にエールを送  
る。  
「いつも皆に沖縄には事  
い海、輝く太陽があるよ  
言っている。頭の中は空  
わっても沖縄スピリッツ  
は変わらない」と語っ  
た。  
(仲井間都江)